

# 1年 道徳の年間指導計画例 (2018年～2019年)

月	教材名〔主題名〕 内容項目(主・関連)	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
4月	1. みんなで たのしく 〔みんなで なかよく〕 【主】B 友情, 信頼 【関連】C よりよい学校生活, 集団生活の充実	◎友達と仲よくし、助け合おうとする。 【理解, 判断力】 友達といっしょに仲よく遊んだり、勉強したり、助け合ったりすることのよさや喜びが分かる。 【心情】 友達と仲よくし、助け合う姿に心が動く。 【実践意欲と態度】 どうしたらもっと仲よく遊ぶことができるかを考えたり、たくさん友達の友達と楽しく遊んだりしようとする。	1 好きな遊びを発表する。 2 「みんなで たのしく」を見ながら話し合う。 3 一人よりもみんなで遊ぶことのよさについて考える。	○朝の会、帰りの会 ・友達のよさを表現した歌や詩を朝や帰りの会で楽しく歌う中で、「友達のよさ」について意識させる。 ○道徳の授業 ・「みんなで たのしく」を読んで、「友達と仲よくする大切さやよさ」について話し合わせる。 ○学級活動 ・友達どうしやクラスみんなで遊んでいる様子を写真にとり、教室に掲示する。 ○生活科など ・生活科や休み時間など、担任と共にクラスみんなで仲よく遊ぶ。
4月	2. あいさつで しあわせに 〔あいさつパワー〕 【主】B 礼儀 【関連】A 正直, 誠実	◎礼儀は敬意を表す形であり、相手を敬う心から生まれたものであることが分かり、正しい礼の形をわきまえ、心を込めて生活しようとする。 【理解, 判断力】 あいさつ・言葉づかい・動作などの礼儀は、相手を一人の人間として敬うものであり、時・場・相手によって使い分ける正しい礼の形があることが分かる。 【心情】 相手を敬い、明るく希望に満ちた気持ちであいさつしている人を見て、えらいなあと思う。 【実践意欲と態度】 身近で親しい人たちにのびのびとおおらかに接しようという心がけ、気持ちのよいあいさつをしようとする。	1 生活の中で、どんなあいさつがあるかをお互いに聞き合う。 2 「あいさつで しあわせに」を読んで話し合う。 3 教室内で、友達の気持ちを込めたあいさつをしよう。	○国語科 ・相手や場面に応じて、ていねいな言葉づかいで話す学習をする。 ○生活科など ・教師や上級生など学校にいる人に元気よくあいさつするよう勧める。 ○道徳の授業 ・「あいさつで しあわせに」を読んで、気持ちがよいあいさつについて考えさせる。 ○学校における日常生活 ・登下校のあいさつ、始業時や終わりのあいさつ、給食時のあいさつなど、一日の生活の中で気持ちを込めてあいさつさせる。
5月	3. がっこうたんけん 〔ありがとう、二ねんせい〕 【主】B 感謝 【関連】C よりよい学校生活, 集団生活の充実	◎自分の世話をしてくれる人たちがいることや、世話をしてくれるのは自分を大切に思ってくれているからだと分かり、世話をしてくれる人に感謝しようとする。 【理解, 判断力】 1年生の上級生に対する感謝は、1年生に安心して過ごしてほしいと思って世話をしてくれることが分かったと、感謝せずにはいられない心から生まれていることが分かる。 【心情】 上級生が1年生を大切に思って世話をしていることが分かり、感謝をする1年生の姿に心が動く。 【実践意欲と態度】 上級生に自ら進んで感謝の気持ちを伝えようとする。	1 入学してから今までどのような気持ちで過ごしているか振り返る。 2 「がっこうたんけん」を読んで感謝について考える。 3 「ありがとう」と伝えたい人とそのわけを考える。	○生活科など ・2年生に学校を案内してもらおう。または、2年生と交流する機会を設ける。 ○道徳の授業 ・「がっこうたんけん」を読んで、感謝について考えさせる。 ・教材に描かれている内容と、自分たちが2年生にお世話になったことを重ねて考えさせる。 ○日常生活 ・2年生を教室に招いたり、2年生の教室に行ったりして、感謝の気持ちを伝えさせる。 ・他にもお世話になっている人たちはいないか考えさせ、感謝の気持ちを伝えさせる。
5月	4. みんなで まもろう 〔きまりを まもろう〕 【主】C 規則の尊重 【関連】C よりよい学校生活, 集団生活の充実	◎公共物の使い方には、いろいろなきまりがあることやそのきまりがあるわけを考えて分かり、みんなが使うものを大切にしようとする。 【理解, 判断力】 公共物の使い方には、いろいろなきまりがあることや、そのきまりがあるわけが分かる。 【心情】 みんなが使うもののきまりを守らない人を見て、「いけないよ」という気持ちをもつ。 【実践意欲と態度】 身の回りにある公共物をきまりに従って使おうとする。	1 生活の中で、みんなで使うものには、どんな物があるかを話し合う。 2 「みんなでまもろう」を読んで、話し合う。 3 みんなで使うものを大切にすることを呼びかける標語を考える。	○生活科 ・学校内の場所ごとのルールを守って行動し、部屋にあるものやいる人、部屋の目的などを調べ、場所ごとのマナーに気づかせる。 ○体育科 ・競走の仕方やマナーについて知り、順番を守って仲よく走るよう指導する。 ○道徳の授業 ・「みんなで まもろう」をもとに、約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にすることを考えさせる。 ○学級活動 ・学校や地域にどんなきまりがあるか、調べたことを紹介する時間を設定する。 ○生活科 ・学校内の場所ごとのルールを守って行動し、部屋にあるものやいる人、部屋の目的などを調べ、場所ごとのマナーに気づかせる。
5月	5. わたしに できる こと 〔はたらくと みんなが いいきもち〕 【主】C 勤労, 公共の精神 【関連】C 家族愛, 家庭生活の充実	◎働くことで周りの人が喜んでくれたり、自分もうれしい気持ちになれたりすることが分かり、自分にできる仕事をしようとする。 【理解, 判断力】 働くことで周りの人たちを支えたり、周りの人たちが喜んでくれたりすることが、自分の喜びであると感じる心があることが分かる。 【心情】 働くことに喜びを感じながら、自ら進んで働こうとする姿に心が動く。 【実践意欲と態度】 自分にできる仕事を探して、自ら進んで働こうとする。	1 べいちゃんの絵を見て、べいちゃんはどうしたのかと問題意識をもって教材を読む。 2 「わたしに できること」を読んで、勤労、公共の精神について話し合う。 3 自分たちの仕事について話し合う。 4 自分にできる仕事はないか考える。	○道徳の授業 ・「わたしに できる こと」を読んで、勤労・公共の精神について考えさせる。 ○家庭 ・子どもたちが実行したことを、家庭から連絡してもらおう。その際に、家族の人たちはどのように思ったか子どもに伝えたり、連絡帳などに書いてもらったりする。 ○日常生活 ・自分や友達がしている仕事を探したり、仕事をして周りの人が喜んでくれたりしたエピソードなどを、帰りの会などで紹介させる。 ・授業で学んだことと、実際にお手伝いしたことやお手伝いをして思ったことで重なる部分はないか考えさせ、理解を深めさせる。
重点主題：いのち きらきら				
5月	6. おたんじょうび れっしゃ 〔たいせつな いのち〕 【主】D 生命の尊さ 【関連】A 正直, 誠実	◎自分は、人に支えられながら、自分の生命力によって生きてきたことを知り、そのすばらしさに心を動かし、生命を大切に生活していこうとする。 【理解, 判断力】 自分の生命は多くの人に支えられてきただけでなく、自分のもっている生きる力によって、今日まで健康で元気に成長してきたことが分かる。 【心情】 自分は多くの人に支えられていることや、生きようとする不思議な力をもっていることに心を動かす。 【実践意欲と態度】 健康に気をつけて日々元気で力強く生きていこうとする。	1 「だれにだって おたんじょうび」の曲を歌い自分の誕生日に興味をもつ。 2 「おたんじょうび れっしゃ」を読んで、「たいせつな いのち」について話し合う。 3 親からの手紙を読み、育ててくれた親の思いを知り、自分のいのちを大切に思う。	○家庭 ・保護者に子どもへの思いをつづった手紙を書いてもらうよう依頼する。 ○朝の会・帰りの会など ・「だれにだって おたんじょうび」（一樹和美 作詞・上柴はじめ 作曲）の歌を朝や帰りの会で楽しく歌う中で、すてきな誕生日がだれにでもあることを意識させる。 ○道徳の授業 ・「おたんじょうび れっしゃ」を読んで、「いのちの尊さ」について話し合わせる。 ○学級活動 ・「いのちきらきらカード」を記入させ、自分や友達のいのちがきらきら輝いている姿を見つけたことを発表させる。家の人へのインタビューを反映させてもよい。 ・「いのちきらきらカード」を教室に掲示し、いのちを大切に思う意識を深める。 ○道徳の授業 ・「みんな みんな いきて いる」を読んで、「いのちの尊さ」について話し合わせる。

月	教材名〔主題名〕 内容項目(主・関連)	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
6月	7. みんな みんな いきて いる 【いのちの すばらしさ】 【主】D 生命の尊さ 【関連】B 親切、思いやり	◎自分が生きて成長していることの喜びを実感し、かけがえのないいのちを大切にしようとする。 【理解、判断力】 友達や周りの人々と関わる日々の生活の中に、自分のいのちの輝きがあることが分かる。 【心情】 喜んだり悲しんだりしながら、いろいろなことができるいのちのすばらしさに心が動く。 【実践意欲と態度】 前向きな気持ちを持ちながら、生き生きと元気に生活し、自分のいのちをきらきらと輝かせていこうとする。	1 「手のひらを太陽に」を歌って、歌のイメージを膨らませる。 2 「手のひらを太陽に」の歌の中から「いのちの輝き」について話し合う。 3 うれしかったり悲しかったりしたことや、これからしてみたいことについて発表し合う。 4 自分がこれからやってみたいことを発表して、本時のまとめとする。	○道徳の授業 ・「おたんじょうび れっしゃ」を読んで、「いのちの尊さ」について話し合わせる。 ○朝の会、帰りの会など ・「手のひらを太陽に」の歌を朝や帰りの会で楽しく歌う中で、いのちのすばらしさについて意識させる。 ○道徳の授業 ・「みんな みんな いきて いる」を読んで、「いのちの尊さ」について話し合わせる。 ○学級活動 ・「いのちきらきらカード」を記入し、自分や友達のいのちがきらきら輝いている姿を見つけたことを発表させる。家の人へのインタビューを反映させてもよい。 ・「いのちきらきらカード」を教室に掲示し、いのちを大切に思う意識を深める。
6月	8. ぼく はずかしいや 【しょうじきに すごす】 【主】A 正直、誠実 【関連】A 善悪の判断、自律、自由と責任	◎うそをついたりごまかしたりすると、心が落ち着かなくなることを知り、素直にのびのびと生活しようとする。 【理解、判断力】 うそをついたりごまかしたりすると、心が落ち着かなくなるのは、正直に生きたいという心が自分の中にあるからだ、ということが分かる。 【心情】 うそをついたりごまかしたりしないで、明るい気持ちで生きるよさが分かる。 【実践意欲と態度】 うそをついたりごまかしたりしないで、素直にのびのびと生活しようとする。	1 うそをついたときにどんな気持ちになるか話し合う。 2 「ぼく はずかしいや」を読んで、正直な心のよさについて話し合う。 3 正直に過ごすために大切なことは何かを話し合う。	○道徳の授業 ・「ぼく はずかしいや」を読んで、「正直、誠実」について考えさせる。 ○学級活動 ・日常生活で、正直で素直に行動している場面や、自分が正直に生活できた体験を紹介する時間を設ける。 ○生活科 ・「正直、誠実」をテーマにした読み聞かせをする。 (ピノキオ/コップをわったねずみくん/いつもちこくの男の子/おしゃべりなたまごやき/子うさぎましろのお話)
6月	9. がっこうまでの みち 【ありがとうの ころろ】 【主】B 感謝 【関連】B 礼儀	◎自分たちの周りには、日ごろからお世話になっている人たちがたくさんいることが分かり、感謝しようとする。 【理解、判断力】 自分たちの周りには、日ごろからお世話になっている人がたくさんいることが分かったら、お世話になっている人たちに感謝したいと願う心が生まれることが分かる。 【心情】 自分たちのことを大切にしたいと願う心から、自分たちのことをお世話してくれる人たちの姿に心が動く。 【実践意欲と態度】 自分たちがお世話になっている人たちに、進んで感謝の気持ちを伝えようとする。	1 自分たちが普段お世話になっている人はどんな人かを考える。 2 「がっこうまでの みち」を読んで感謝について話し合う。 3 自分たちが普段お世話になっている人たちについて考える。 4 お世話になっている人々への感謝の言葉を考える。	○道徳の授業 ・「がっこうまでの みち」を読んで、感謝について考えさせる。 ○学校における日常生活 ・実際に感謝の気持ちを伝えたり、本時で書いた「『ありがとう』カード」を渡したりさせる。 ○学級活動 ・「いつ・どこで・だれに」お世話になったか、朝の会や帰りの会で紹介したり、背面黒板などを活用して紹介したりする場を設け、多くの人に支えられて生活していることを実感させる。
6月	10. かぼちゃの つる 【わがままを しない】 【主】A 節度、節制 【関連】A 善悪の判断、自律、自由と責任	◎わがままをしないで、けじめのある生活をしようとする。 【理解、判断力】 わがままな振る舞いは、他の人にとって迷惑であるばかりでなく、自分の生活が乱れることが分かる。 【心情】 けじめのある生活している人は、立派だなあと心が動く。 【実践意欲と態度】 生活の中で、わがままな気持ちを抑え、節度をわきまえて行動しようとする。	1 わがままをするとどうなってしまうかについて話し合う。 2 「かぼちゃの つる」を読んで、わがままをすることについて話し合う。 3 「かぼちゃ」はどうすればよかったかを話し合う。 4 自分の生活の中で、わがままをしないように気をつけていることを発表する。	○学校における日常生活 ・日常生活で、自分を振り返るカードに取り組みせ、わがままに振る舞うことが多い場面やときを見つけてさせる。 ○家庭 ・振り返りの結果を家庭に伝え、家庭と連携してその気持ちを抑えられたときのことなどを共有して指導に役立てる。 ○道徳の授業 ・「かぼちゃの つる」を読んで、わがままについて話し合わせる。 ○朝の会・帰りの会など ・朝の会や帰りの会で自分を振り返る時間を設ける。 ・自分の心をコントロールすることの大切さを伝え、わがままをしないようにしている姿を称賛したり、振り返らせたりする。 ○家庭 ・学習の成果を伝え、家庭と連携して児童が行動に表せるようにしていく。
7月	11. まちたんけん 【わたしの まち だいすき】 【主】C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 【関連】C よりよい学校生活、集団生活の充実	◎郷土の文化や生活・自然に親しみ、愛着をもって生活していこうとする。 【理解、判断力】 自分の住んでいる郷土には、豊かな自然や人々の支え合いという文化があるなど、すばらしいよさが分かる。 【心情】 自分の住んでいる郷土にのよいところに興味と関心を持ち、それに愛着をもつ。 【実践意欲と態度】 自分の住んでいる郷土のよさを大切にすると共に、それに親しみをもって生活していこうとする。	1 教材のあらすじから、「ぼく」たちは、おおぬきの探検でどんな発見をしたかについて問題意識をもつ。 2 「まちたんけん」を読んで、ぼくたちがどんな発見をしたかについて、自分の考えをノートに書き、それをもとに話し合ってみよう。 3 自分たちのまちにも、すばらしいところや大好きなところはないかについて話し合う。 4 家族に話を聞いたり、自分たちのまちのよさを調べたりするといった課題について話し合う。	○家庭 ・家庭学習で、自分の住んでいる町の好きなところを考えてくる課題を出す。 ○道徳の授業 ・「まちたんけん」を読んで郷土愛について考えさせる。 ○家庭 ・自分の住んでいる町の好きなところを、家の人と話し合ってくる課題を出す。 ○朝の会・学級活動など ・朝のスピーチなどで、家の人と話し合ったことをみんなに知らせる。
7月	12. あおしんごう 【あんぜんに きをつけて】 【主】A 節度、節制 【関連】C 規則の尊重	◎自分の心をコントロールして、生活をよりよくしようとするのよさを感じ、安全に気をつけて生活していこうとする。 【理解、判断力】 自分の心をコントロールして、安全な生活をしようとするのは、自分の生活をよりよくしたいと思う心から生まれることが分かる。 【心情】 そのような心から自分の心をコントロールし、安全に気をつけて生活する人を見て、いいなと思う。 【実践意欲と態度】 自分の心をコントロールして、安全に気をつけて、明るく元気に生活していこうとする。	1 横断歩道を渡る時、どんなことに気をつけているかについて話し合う。 2 「あおしんごう」を読んで、安全に気をつけて生活することについて考える。 3 ゆりさんの行動を振り返り、本時のまとめをする。 4 自分の心をコントロールすることのよさについてまとめる。	○学校における日常生活 ・自分のことで自分がやっていることにはどんなことがあるか、見つけさせる。 ・自分の登下校でどんなことに気をつけているか振り返らせる。 ○道徳の授業 ・「あおしんごう」を読んで、自分で安全に気をつけて生活することについて考えさせる。 ○朝の会、帰りの会など ・自分の心をコントロールできたこと、コントロールするとどんなことがあったかを発表させる。
9月	13. ぶうたの やくめ 【すききらいに とらわれない】 【主】C 公正、公平、社会正義 【関連】C 勤労、公共の精神	◎自分の好き嫌いにとらわれないで接しようとする。 【理解、判断力】 好き嫌いにとらわれないで、人と接することのよさが分かる。 【心情】 不公平を避け、公正、公平に人と接する事のよさを感じる。 【実践意欲と態度】 好き嫌いにとらわれないで、だれとでも分け隔てなく接しようとする。	1 よいことをしたときの気持ちについて話し合う。 2 「ぶうたの やくめ」を読み、ぶうたの悩みを通して、公正、公平について話し合う。 3 学習のまとめをする。	○道徳の授業 ・「ぶうたの やくめ」を読んで、公正、公平についての理解を深め、好き嫌いにとらわれないで行動するよさを考えさせる。 ○学級活動 ・身の回りにいる、だれとでも同じように接している人を探して、その人のよさを見つけ互いに知らせ合う活動を設定する。 ・公正、公平の視点から、自分たちの行動を見直しながら学んだり遊んだりするよう意識させる。
9月	14. おとしよりと いっしょに 【あいての きもちに なって】 【主】B 親切、思いやり 【関連】B 感謝	◎相手が喜ぶことをしたいと願う心があることが分かり、相手の気持ちや立場を考えて相手が喜ぶことをしようとする。 【理解、判断力】 相手の気持ちや立場を考えようとする姿は、相手が喜ぶことをしたいと願う心から生まれていることが分かる。 【心情】 相手が喜ぶことをしたいと願う心から、相手の気持ちや立場を考えようとする姿に心が動く。 【実践意欲と態度】 相手の気持ちや立場を考えて、相手が喜ぶことをしようとする。	1 「敬老の日」の意味を聞き、お年寄りを大切にすることについて考える。 2 「おとしよりと いっしょに」を読んで、親切、思いやりについて話し合う。 3 相手の気持ちを考え、相手が喜ぶことをしようとした場面を振り返り、発表する。 4 「敬老の日」に向けて、お年寄りの気持ちを考え、お年寄りが喜んでもらえることを考えて発表する。	○道徳の授業 ・「おとしよりと いっしょに」を読んで、親切・思いやりについて考えさせる。 ○学級活動 ・道徳の授業で考えたお年寄りの気持ちを考え、お年寄りが喜ぶと思うことを実際にやらせる。 ・実行している際のお年寄りの様子や、その時に自分が思ったことを記録させる。 ○日常生活 ・お年寄りの気持ちを考え、お年寄りが喜ぶと思うことをやってみて、そのときのお年寄りの様子や、自分が思ったことを帰りの会などで発表させる。

月	教材名〔主題名〕 内容項目(主・関連)	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
9月	15. ぼくは いかない 〔ただし ことは すすんで〕 【主】A 善悪の判断, 自律, 自由と責任 【関連】C 規則の尊重	◎何がよいことで何が悪いことが分かり、よいことを実現したいと思う心に動かされ、進んで正しいことを行おうとする。 【理解, 判断力】 時と場, 相手によるよいことと悪いことの区別があることを知り, 友達に誘われたとき, 状況にふさわしいよいこととは何か, 悪いこととは何か分かる。 【心情】 よいことをしようとするとき, 迷いを克服して正しいと思ったことを実現しようと思いが動く。 【実践意欲と態度】 よいと思ったことを, 小さなことでも遠慮しないで積極的に行おうとする。	1 「よわむし」ということについて, 自分の考えを発表する。 2 「みんなでまもろう」を読んで, しんちゃんの行いについて話し合う。 3 P.56とP.57を見て, どんなときに「よわむし」でない行動がとれるか話し合う。	○生活科 ・自分のよいと思った考えを友達に伝えたり, 相手の考えに自分の思いや感じたことを伝えたりしながら活動をしているか見る。 ○道徳の授業 ・「ぼくは いかない」をもとに, よいことと悪いことの区別が分かり, よいことをしようとする心をもって進んで正しいことを行う大切さについて話し合わせる。 ○帰りの会 ・よいと思うことに進んで取り組もうとすることができたか, 帰りの会で振り返らせる。
9月	16. わきだした みず 〔たすけずには いられない ころ〕 【主】D 生命の尊さ 【関連】B 友情, 信頼	◎命を助けようとするために努力する人の生き方のよさが分かり, 自分も自他の命を大切にしていこうとする。 【理解, 判断力】 人の命を助けようとする姿は, 命が危ないと分かることとじていられない心から生まれていることが分かる。 【心情】 命が危ないと分かることとじていられない心から命を助けようとする姿に心が動く。 【実践意欲と態度】 自分もそのような心をもっていることを自覚し, 自他の命を大切にしていこうとする。	1 本時の学習に興味関心を持ち, 教材を読む意欲をもつ。 2 「わきだした みず」を読んで, かにの行動について話し合う。 3 かにのように「助けずにはいられない心」をもった人の話を聞く。	○生活科 ・身近な生き物の世話をし, そのことを日記やカードに記録させる。 ○道徳の授業 ・「わきだした みず」を読んで, 「命の危険を見過ごせない心」について考えさせる。 ○学校における日常生活 ・命を大切にしている人のお話をし, 命を助けている人のことを探したり調べたりして, カードにまとめたり, 発表したりさせる。
10月	17. きんの おの 〔しょうじきな ひとは どんないひと〕 【主】A 正直, 誠実 【関連】A 節度, 節制	◎うそをついたりごまかしたりすると, 自分の心も相手の心も暗くなるのが分かり, いつも明るい心で行動しようとする。 【理解, 判断力】 うそをついたりごまかしたりすると, 自分の心も相手の心も暗い心になることが分かる。 【心情】 自分の良心に正直でありたいと願って行動した人の行いに触れて心が動く。 【実践意欲と態度】 うそをついたりごまかしたりせずに, いつも明るい心で生活しようとする。	1 うそをついてはいけないわけについて話し合う。 2 正直な人とそうでない人の違いを考えながら, 「きんの おの」を読んで, 話し合う。 3 学習したことをもとに, うそや正直をテーマにした標語を考え, 掲示する。	○道徳の授業 ・「きんの おの」を読んで, 正直・誠実について考えさせる。 ・学習したことをもとにして, うそや正直をテーマにした標語をカードに書かせる。 ○学校における日常生活 ・うそをついたりごまかしたりせず, 自分の良心に正直に生活しようとすることのよさを実感させる。 ○学級活動 ・うそや正直をテーマにした標語のカードを校長先生に見て頂き, その感想や励ましを交えたお話を聞かせる。 ・他者や本の登場人物などから, 自分の良心に正直に行動して, 明るく伸びやかに生活している人を探させる。
重点主題: まいにちを きもちよく				
10月	18. ちゃんとの たつじん① 〔きもちが よい がっこうのせいかつ〕 【主】A 節度, 節制 【関連】C よりよい学校生活, 集団生活の充実	◎健康や安全に気をつけ, 物や金銭を大切にし, 身の回りを整え, わがまますらないで, 規則正しい生活をしようとする。 【理解, 判断力】 学校生活で基本的な生活習慣を身につけることの大切さが分かることと共に, そのような生活をする秘訣は, 節度を守り節制に心がけ, それを続けることであることが分かる。 【心情】 学校生活で基本的な生活を身につけた人に対して, すばらしいと思うようになる。 【実践意欲と態度】 学校生活のさまざまな場面で, 基本的な生活習慣を身につけて, 規則正しい生活をしようと思え, 実行しようとする。	1 身の回りのことができているかどうか, お互いに聞き合う。 2 「ちゃんとの たつじん①」を読んで, 基本的な生活習慣が身につけているか話し合う。 3 家の「ちゃんとのたつじん」について話し合う。	○道徳の授業 ・「ちゃんとの たつじん①」を読んで, 学校生活のさまざまな場面で, 基本的な生活習慣にはどんなものがあるか, 身につくとどんなよいことがあるか考えさせる。 ○道徳の授業 ・「ちゃんとの たつじん②」を読んで, 家庭生活のさまざまな場面で, 基本的な生活習慣を身につけるためにどうしたらよいか考えさせる。 ○学校における日常生活 ・基本的な生活習慣を身につけるため, どんなことをどのように行うか考えたことを続けられるよう勧め, 学校生活で「ちゃんとのたつじん」になれたかノートに記録させたり, 「ちゃんとのたつじん」を見つけてさせたりする。 ○生活科 ・家族の一員として自分のできることを考え, 自分のできる仕事を決めて続けるよう勧める。
10月	19. ちゃんとの たつじん② 〔きもちが よい いえのせいかつ〕 【主】A 節度, 節制 【関連】A 希望と勇気, 努力と強い意志	◎健康や安全に気をつけ, 物や金銭を大切にし, 身の回りを整え, わがまますらないで, 規則正しい生活をしようとする。 【理解, 判断力】 家での生活で基本的な生活習慣を身につけることの大切さが分かることと共に, そのような生活をする秘訣は, 節度を守り節制に心がけ, それを続けることであることが分かる。 【心情】 家での生活で基本的な生活を身につけた人に対して, すばらしいと思うようになる。 【実践意欲と態度】 生活のさまざまな場面で, 基本的な生活習慣を身につけて, 規則正しい生活をしようと思え, 実行しようとする。	1 学校生活で見つけた, 「ちゃんとのたつじん」を発表し合う。 2 「ちゃんとの たつじん②」を読んで, 基本的な生活習慣を身につけるにはどうしたらよいか話し合う。 3 これからなってみよう「ちゃんとのたつじん」を見つけて発表する。	○道徳の授業 ・「ちゃんとの たつじん①」を読んで, 学校生活のさまざまな場面で, 基本的な生活習慣にはどんなものがあるか, 身につくとどんなよいことがあるか考えさせる。 ○道徳の授業 ・「ちゃんとの たつじん②」を読んで, 家庭生活のさまざまな場面で, 基本的な生活習慣を身につけるためにどうしたらよいか考えさせる。 ○学校における日常生活 ・基本的な生活習慣を身につけるため, どんなことをどのように行うか考えたことを続けられるよう勧める。 ○家庭 ・「ちゃんとのたつじん」になるための具体的な行動ができたかどうかを記録させ, 一ヶ月後に発表する場を設ける。
10月	20. うちの ねこ 〔どうぶつと なかよし〕 【主】D 自然愛護 【関連】D 生命の尊さ	◎動物との触れ合いを通して, 自分と同じ命があることや似ているところに気づくと親しみがわくことが理解でき, そのような関係に感動し, 動物を大切にしていこうとする。 【理解, 判断力】 動物にも自分と同じ命があることや似ているところに気づくと親しみを覚えることが分かる。 【心情】 動物と人とが親しく過ごすことのよさが分かり, 感動する。 【実践意欲と態度】 動物と進んで触れ合い, 関わりを深め, 大切にしていこうとする。	1 自分の普段の動物との関わりについて話し合う。 2 「うちの ねこ」を読んで, 動物との関わりについて考える。 3 今日学習したことを, 自分の生活にどう生かせるかを考える。	○生活科 ・動物と触れ合う活動をする時間を設ける。 ・触れ合ったことを観察カードなどにまとめさせる。 ○道徳の授業 ・「うちの ねこ」を読んで, 動物との関わりについて考えさせる。 ○学校における日常生活 ・動物の気持ちが分かる人の本を紹介し, 読み聞かせを行ったり, 読書の時間に読むよう勧めたりする。
11月	21. もみじがり 〔にほんじんの ころ〕 【主】C 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度 【関連】D 感動, 畏敬の念	◎紅葉狩りを通して, 古くから伝わる伝統や文化に親しみ, 愛着をもつ。 【理解, 判断力】 伝統的な行事である紅葉狩りのよさとしての自然に親しむ心が分かる。 【心情】 先人の思いに心を通わせ, 紅葉の美しさに心を動かす。 【実践意欲と態度】 紅葉狩りを通して, 伝統行事に親しみをもち, 進んで参加しようとする。	1 紅葉狩りについて, 知っていることを発表し合う。 2 「もみじがり」を読み, 紅葉狩りに込められた先人の思いを知る。 3 学習のまとめをする。	○生活科・学校における日常生活 ・他教科との関連や休み時間などを活用して, 校庭の樹木や近くの公園の紅葉を見に行き, 自然と触れ合う楽しさを体験させる。 ・落ち葉を拾ったり集めたりして, 楽しく遊ばせる。 ○道徳の授業 ・「もみじがり」の学習で, 伝統的な行事である紅葉狩りのよさを分らせる。 ・自然が大好きな日本人の心を共感をもって理解させる。 ・地域の自然や伝統行事に親しみをもち, 進んで参加しようとする意欲をもとに, 次の(事後)の活動へつないでいく。 ○学級活動・生活科など ・自分の町の美しい景色や, 昔から続いている紅葉狩りのような行事を調べ, 発表し合う活動をする。

月	教材名〔主題名〕 内容項目(主・関連)	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
11月	22. すてきな ことば「あふたあ ゆう」 〔がっこうを たのしく〕 【主】C よりよい学校生活, 集団生活の充実 【関連】B 親切, 思いやり	◎自分たちの学校や学校の人々に親しんで、学級や学校を楽しくしようとする。 【理解, 判断力】 学校の人々は、いつも自分たちのことを考えてくれていることや、自分たちにはない力をもっていることが分かる。 【心情】 自分たちを見守ってくれている学校の人々に尊敬の気持ちをもつことができる。 【実践意欲と態度】 明るく楽しい学校にするために、自分たちができることをやりたいと思う。	1 6年生に優しくされたことを思い出す。 2 「すてきな ことば『あふたあ ゆう』」を読んで、学校のよさについて話し合う。 3 自分たちの学校の素敵などころを話し合う。	○道徳の授業 ・「すてきな ことば『あふたあ ゆう』」を読んで、学校のよさについて考えさせる。 ○学校における日常生活 ・学校の素敵などころを探させる。 ・見つけたことをみんなに向けて発表させる。 ・自分たちにもできそうなことを見つけてさせる。 ○学級活動 ・自分たちにもできることを話し合い、実践するよう勧める。
11月	23. はしの うえの おおかみ 〔やさしい ころ〕 【主】B 親切, 思いやり 【関連】B 友情, 信頼	◎他者が喜ばば自分もうれしくなる心が思いやりの心のものであることが分かり、思いやりの心をもって生活しようとする。 【理解, 判断力】 人は、他者が喜ばば自分もうれしくなる心をもっており、その心が思いやりの心のものであることが分かる。 【心情】 他者の気持ちを理解して、自分にできることをしている人の心や行為に感動することができる。 【実践意欲と態度】 思いやりの心をもって人に親切にしていこうという心をもって、日々生活していこうとする。	1 二枚のおおかみの絵を見て、おおかみはどのように変わるのだろうかという疑問をもつ。 2 「はしの うえの おおかみ」を読んで、どんなおおかみからどんなおおかみへ変わったかについて考えてまとめ、それをもとに話し合う。 3 変わったおおかみのどちらと友達になりたいか、それはなぜかについて話し合う。	○道徳の授業 ・「はしの うえの おおかみ」を読んで、親切・思いやりについて考えさせる。 ○学校における日常生活 ・相手の気持ちを考えて、親切にするよう勧める。 ・思いやりの心をもった人の物語の読み聞かせをする。 ・親切にして喜んでもらえたことや、思いやりの心をもった人の本の感想を、読書ノートなどに記録させる。 ○学級活動 ・読んだ話を読書ノートに記録し、思ったことをまとめさせる。
11月	24. ルールがないと どうなるの？—スマホやゲームをつかうとき— 〔みんなが ルールを かんがえよう〕 【主】C 規則の尊重 【関連】A 善悪の判断, 自律, 自由と責任	◎約束やきまりを守り、安全に楽しく情報機器を使う。 【理解, 判断力】 情報機器を使うときのルールやマナーのもつ理由が分かる。 【心情】 自分や周りの人が気持ちよく過ごせるような使い方をしたいと思う。 【実践意欲と態度】 約束やきまりを守り、安全に楽しく情報機器を使おうとする。	1 「ルールがないと どうなるの？」を読み、「もんだい」について話し合う。 2 学習のまとめをする。	○家庭 ・保護者の協力を得て、通信機能つきゲーム機の所有率やスマートフォンの利用率、電子メールの利用経験などを実態調査しておく。 ○道徳の授業 ・「ルールがないと どうなるの？—スマホやゲームをつかうとき—」を読んで、情報機器の使用に関するルールやマナーについて理解を深める。 ○家庭 ・自分の家庭での情報機器における使い方の約束を、保護者ともう一度話し合わせる。
12月	25. 一にち 十ぶん 〔がんばる ちから〕 【主】A 希望と勇気, 努力と強い意志 【関連】A 個性の伸長	◎勉強の大切さや仕事の大切さが分かり、しっかりと行おうとする。 【理解, 判断力】 自分のやらなければならないことは何か、なぜそれをやらなければならないかが分かる。 【心情】 何のためにやるのかを明確につかみ、やり続けようとしている人をすばらしいなあと思う。 【実践意欲と態度】 自分でやろうと決めたことは、粘り強くやり続けようとする。	1 今、頑張っていることは何かをお互いに聞き合う。 2 「一にち 十ぶん」を読んで、うまくいかないつらさや、それでも頑張ろうとする気持ちについて話し合う。 3 続けて頑張るために大切なことと、これから頑張ることを考えて、まとめる。	○国語科 ・片仮名や漢字の書き方を学び、書き順に気をつけて練習させる。 ○体育科 ・短なわでいろいろな跳び方を練習させる。 ○道徳の授業 ・「一にち 十ぶん」をもとに、どうして頑張りが続くことができるのかということについて考えさせる。 ・みどりさんのように、自分のためにやり続けたいと思うことを書かせる。 ○学校における日常生活, 家庭 ・自分のやらなければならない勉強や仕事を掲示し、学校や家で継続して取り組ませる。 ・学習や運動で、めあてが達成できるように粘り強く続けられるよう指導する。
12月	26. だいな わすれもの 〔マナーを まもって きもちよく〕 【主】B 礼儀 【関連】B 感謝	◎心のもったあいさつをして、お互いに気持ちよく生活しようとする。 【理解, 判断力】 あいさつは、自分の気持ちを伝えるものであることが分かる。 【心情】 自分の気持ちをきちんと伝えるあいさつをしている人に触れて、心が動く。 【実践意欲と態度】 礼儀の大切さが分かり、進んで心を込めたあいさつをしようとする。	1 気持ちのよいあいさつについて考える。 2 「だいな わすれもの」を読んで、礼儀について話し合う。 3 あいさつ以外の礼儀について話し合う。	○道徳の授業 ・「だいな わすれもの」を読んで、礼儀について考えさせる。 ○学校における日常生活・家庭 ・見つけた礼儀正しい言動を、実際に行ってみよう勧める。 ・やってみたことを、ノートやワークシートに記録させる。 ○朝の会・生活科など ・記録したノートやワークシートを読んでみんなに知らせる。
1月	27. エマさんの こたえあわせ 〔がいこくの ひとと なかよく〕 【主】C 国際理解, 国際親善 【関連】B 友情, 信頼	◎他国の人々や文化に親しみをもつ。 【理解, 判断力】 他国には日本と違った文化があることを知る。 【心情】 他国の人々はそれぞれの文化を大切にしていることに共感する。 【実践意欲と態度】 他国の人々や文化に親しみを持ち、もっと調べてみようとする。	1 学習課題を立てる。 2 「エマさんの こたえあわせ」を読み、外国の人と仲よくするために大切なことを話し合う。 3 コラムを読み、外国と日本の違いを知り、仲よくするために大切なことを話し合う。 4 学習のまとめをする。	○学校における日常生活 ・地球儀や世界地図を見たり、外国の歌を歌ったりして、外国に関心をもたせる。 ○道徳の授業 ・「エマさんの こたえあわせ」を読み、オーストラリアの文化について関心をもたせる。 ・コラムを読み、外国と日本の文化の違いを理解させる。 ○学校における日常生活・家庭 ・外国の暮らしや文化について調べたり人に聞いたりさせる。 ・外国から来た人や外国の歌に親しむ活動を設定する。
重点主題：しては いけない こと				
1月	28. ひつじかいと おおかみ 〔こころの コントロール〕 【主】A 善悪の判断, 自律, 自由と責任 【関連】A 正直, 誠実	◎してよいことと悪いことを区別して、よいと思うことを進んで行うようになる。 【理解, 判断力】 してよいことと、悪いことがあることが分かるだけでなく、なぜよいことか悪いことかの理由まで分かる。 【心情】 してよいことには快、悪いことには不快の感情をもつようになる。 【実践意欲と態度】 してよいことと悪いことを区別して、自分をコントロールするようになる。	1 P.105を読んで、「してはいけないこと」にはどんなことがあるかについて話し合う。 2 「ひつじかいと おおかみ」を読んで、うそをつくことは、なぜいけないことかについて話し合う。 3 村の人々が、どんなに困ったり怒ったりしているかについて話し合う。 4 「してはいけないこと」には、うそをつくこと以外にもどんなことがあるかについて話し合う。	○道徳の授業 ・「ひつじかいと おおかみ」を読んで、善悪の判断について考えさせる。 ○学級活動 ・「してはいけないこと」をみんなで考え、カードに書いて教室に掲示する。 ○学校における日常生活 ・「してはいけないこと」で、我慢できたことを、ノートやワークシートに記録させる。朝のスピーチなどで、記録したことをみんなに知らせる時間を取る。 ○道徳の授業 ・「なまはげ」を一つの例として、「してはいけないこと」について学習させる。 ・親や村の人々がどんなに悲しむかについて具体的に話し合わせる。
2月	29. なまはげ 〔よい ことと わるい こと〕 【主】A 善悪の判断, 自律, 自由と責任 【関連】A 節度, 節制	◎してよいことと悪いことを区別して、よいと思うことを進んで行うようになる。 【理解, 判断力】 してよいことと、悪いことがあることが分かるだけでなく、なぜよいことか悪いことかの理由まで分かるようになる。 【心情】 してよいことには快、悪いことには不快の感情をもつようになる。 【実践意欲と態度】 してよいことや悪いことを区別して、自分をコントロールするようになる。	1 前時学習で明らかにした「してはいけないことにはどんなことがあったか」について話し合う。 2 「なまはげ」を読んで、この話のあらすじを把握する。 3 なまはげに、ほめてもらえる「したほうがよいこと」にはどんなことがあるかについて話し合う。 4 学習をまとめ、今後の生活について話し合う。	○道徳の授業 ・「ひつじかいと おおかみ」を読んで、善悪の判断について考えさせる。 ・「してはいけないこと」について調べさせる。 ○道徳の授業 ・「なまはげ」を一つの例として、「してはいけないこと」について学習させる。 ・親や村の人々がどんなに悲しむかについて具体的に話し合わせる。 ○学級活動 ・「してはいけないこと」や「したほうがよいこと」をみんなで考え、カードに書いて教室に掲示する。 ○学校における日常生活 ・「したほうがよいこと」で、できたことを、ノートやワークシートに記録させる。 ・朝のスピーチなどで、記録したことをみんなに知らせる活動を行う。

月	教材名〔主題名〕 内容項目(主・関連)	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
2月	30. ぎんの しずく 【かぞくの あたかき】 【主】C 家族愛、家庭生活の充実 【関連】B 感謝	◎家族の愛情が分かれば分かるほど、家族に対する敬愛の念がわき、家族の役に立ちたいと思うようになる。 【理解、判断力】 家族は、いつでも子の健康や安全、健やかな成長を願って、接してくれていることが分かる。 【心情】 家族の自分に対する思いを知れば知るほど、家族に対する敬愛の念を感じる。 【実践意欲と態度】 自分を大切に育ててきてくれた家族のために、感謝の気持ちをもって、自分に何が出来るか考えて生活しようとする。	1 3枚のお母さんの絵を見て、どのお母さんがいいお母さんか考える。 2 「ぎんの しずく」を読んで、母親の慈しみの心について考える。 3 自分の家族と重ねて考える。 4 家族が、自分たちのことを考えてしてくれていることは何か考える。	○生活科 ・家族との触れ合いや出来事を日記に書かせる。 ・お手伝いをしたことをカードなどにまとめさせる。 ○道徳の授業 ・「ぎんの しずく」を読んで、自分に対する家族の慈しみの心について話し合わせる。 ○朝の会・帰りの会など ・母親の愛を取り上げた本やお話を読み聞かせる。 ○家庭・生活科など ・自分たちのことを考えてしてくれていることを家族にインタビューし、家族へ「ありがとう」を伝える手紙を書かせる。
2月	31. 二わの ことり 【ともだちの きもちを おもう ころ】 【主】B 友情、信頼 【関連】B 親切、思いやり	◎お互いに友達の気持ちを考えて、助け合って生活しようとする。 【理解、判断力】 友達の気持ちを考えて、仲よくしたいという心があることが分かる。 【心情】 友達の気持ちを考えて、行動に移すことのできるすばらしさに感動する。 【実践意欲と態度】 お互いに友達の気持ちを考えて、助け合って生活しようとする。	1 「二わの ことり」の読み聞かせを聞き、友達について考える。 2 みそさざいとやまがらの友情について話し合う。 3 なりたい友達について考える。	○道徳の授業 ・教材「二わの ことり」を読んで、相手の心を思う友情について考えさせる。 ○学校における日常生活 ・日常生活で、友達の気持ちを大切にしている場面を紹介する。 ・自分が友達の思いを大切にできた体験を紹介させる。 ○学級活動 ・「友情、信頼」をテーマにした読み聞かせをする。 (「ふたりはともだち」など)
2月	32. ぼくにも あるかな 【わたしは どんな ひと】 【主】A 個性の伸長 【関連】C 家族愛、家庭生活の充実	◎よりよい自分になりたいと思っていると、人のよいところなどの特徴が見えてくることや、自分のよさが分かることと自信になることが分かり、もっと自分や人のよさを知らうとする。 【理解、判断力】 よりよい自分になりたいと思っていると、人のよいところなどの特徴が見えてくることや、自分のよさを知らうと自信になることが分かる。 【心情】 よりよい自分になりたいと思うことや自分のよさが分かることに心が動く。 【実践意欲と態度】 自分や友達のよいところを知らうとする。	1 教科書P.120～121を読んで、ちよろすけやはつかのよいところについて考える。 2 教科書P.122～123を読んで、ちゅうたのよいところについて考える。 3 自分のよいところを探す。 4 自分のよいところを伸ばすにはどうしたらよいかを話し合う。	○学校における日常生活 ・クラスの子どものよいところなどをみんなに紹介したり、友達のよいところに気づく子を紹介したりする。 ○道徳の授業 ・「ぼくにも あるかな」を読んで、個性の伸長について考えさせる。 ○家庭 ・家族に自分のよいところや、その伸ばし方についてインタビューをさせる。 ○家庭、生活科など ・家庭でインタビューしてきたことを発表する時間を設ける。
3月	33. ひしゃくぼし 【うつくしい ころ】 【主】D 感動、畏敬の念 【関連】B 親切、思いやり	◎美しいものに感動し、すがすがしい心をもとうとする。 【理解、判断力】 自分の心の中にも美しい心に響き合う心があることが分かる。 【心情】 他者を思いやる人の心の美しさに感動することができる。 【実践意欲と態度】 美しい心に触れたときのすがすがしさを大切にしようとする。	1 暗くした静かな雰囲気のある教室の中で、デジタル教科書やOHPなどで、「ひしゃくぼし(北斗七星)」を眺め、その美しさを感じ取る。 2 「ひしゃくぼし」を読み、女の子の心の美しさについて話し合う。 3 美しい心について話し合う。	○学校における日常生活 ・普段からきれいだなとか美しいなと思うものに触れる機会を意図的にもたせる。 (例 雨上がりの虹や雲一つない青い空など) ○国語 ・図書の時間などに心の優しい登場人物が出てくる話を紹介し、人の心の美しさについて意識を向けるようにする。 ○道徳の授業 ・「ひしゃくぼし」を読み、女の子の心の美しさについて話し合わせる。 ○国語・生活科など ・「ひしゃくぼし」の話を紙芝居にまとめたり、もっと他の本を読んだりするよう勧める。 ・さまざまな自然の美しさに浸らせる。 ○家庭 ・今日の学習で心に残ったことを家の人に話すよう指導する。
3月	34. もうすぐ 二ねんせい 【わたしたちの がっきゅう】 【主】C よりよい学校生活、集団生活の充実 【関連】B 感謝	◎自分の成長には教師や友達の支えがあることを知り、教師を慕い、学校生活を一層楽しむようになる。 【理解、判断力】 1年間でのいろいろなことができるようになり、その背景には、教師や友達の支えや励ましがあったことが分かる。 【心情】 教師や友達の支えや励ましでいろいろなことができるようになったことをうれしく思う。 【実践意欲と態度】 教師や友達と共に過ごす学校生活によさを感じ、進級に向けての希望をもつことができる。	1 できるようになったことと、なぜそれができるようになったのかについて話し合う。 2 「もうすぐ 二ねんせい」を読んで、できるようになった理由について話し合う。 3 自分のできるようになったことにも、教師や友達の関わりがあったことに気づく。 4 いろいろな教師や友達の支えや励ましがある小学校のよさを味わう。	○生活科など ・できるようになったことなどをまとめて、参観日などで発表させる。 ○道徳の授業 ・「もうすぐ 二ねんせい」を読んで、自分のできるようになったことには、教師や友達の支えや励ましがあったことを理解させる。 ○国語科など ・「できるようになったこと」や「1ねんせいをふりかえって」などを題材とした作文を書く時間を設け、発表しあう。 ○学校における日常生活 ・日々の生活の中で、周りの教師や友達の支えなどを「学校パワー」として見つけるよう指導する。
付録	35. うわばきぶくろ 【ものや おかねを たいせつに】 【主】A 節度、節制 【関連】B 感謝	◎物を大切に使うことによって、毎日の生活が気持ちよく過ごせるようになる。 【理解、判断力】 物には、それをつくった人やくれた人の心と、自分の思い出がこもっていることが分かる。 【心情】 物を大切にすることで、人の心も大切にしていきたいと心が動く。 【実践意欲と態度】 自分から進んで物を大切に、気持ちよく生活しようとする。	1 自分が大切にしているものとその理由を話し合う。 2 「うわばきぶくろ」を読み、お母さんがつくってくれたうわばきぶくろのよさについて話し合う。 3 自分が大切にしている物や、これから大切にしたい物を思い出し、そのわけを考える。	○家庭 ・「大切にしているもの」とその理由について家庭学習として授業前に考えてくることを課題とし、ねらいとする価値を意識づける。 ○道徳の授業 ・「うわばきぶくろ」を読んで、「物を大切に使うこと」やそのよさについて話し合わせる。 ○学級活動・朝の会・帰りの会など ・「ぼく・わたしが大切にしているもの」と「その理由」について発表会を実施し、お互いの考えを共有させる。 ○家庭 ・家庭学習として、本時で学んだよさを捉えたいうえで、自分が「大切にしているもの」と「その理由」について、家の人に話してくる。
付録	36. スポーツと おじぎ 【れいぎ ただしく】 【主】B 礼儀 【関連】C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	◎心のもったおじぎをして、明るい心で生活しようとする。 【理解、判断力】 おじぎには相手に対する敬意が込められていることが分かる。 【心情】 真心を込めたおじぎをする人を見て、共感する。 【実践意欲と態度】 時と場に応じて、心のもったおじぎをしようとする。	1 自分がおじぎをしているときと場所を思い出す。 2 「スポーツと おじぎ」を読み、おじぎについて話し合う。 3 学習のまとめをする。 4 自分が心を込めたい礼儀をワークシートに書く。	○学校における日常生活 ・学校や地域で取り組んでいる「あいさつ運動」などを話題にして、あいさつや礼儀への関心を高める。 ○道徳の授業 ・「スポーツと おじぎ」を読み、礼儀正しい振る舞いについての理解を深めさせる。 ○学校における日常生活 ・学校や地域で、その場にふさわしいあいさつ、言葉づかい、礼儀を進んで行うよう勧める。 ・気持ちを込めて礼儀正しい行動を実践したときのことを発表させる。
付録	37. きいろい ベンチ 【みんなの ための きまり】 【主】C 規則の尊重 【関連】A 善悪の判断、自律、自由と責任	◎みんなが使うものを大切に考え、約束やきまりを守ろうとする。 【理解、判断力】 私たちの身の回りには、みんなで使うものがたくさんあることが分かり、それらを使うには、約束やきまりがあることが分かる。 【心情】 約束やきまりを守って使うと、みんなも自分も困らないし、気持ちよく過ごせることが分かる。 【実践意欲と態度】 みんなが気持ちよく過ごすために、約束やきまりを守って公共のものを使おうとする。	1 自分のものとみんなで使うものについて考える。 2 「きいろい ベンチ」を読んで、みんなのための約束やきまりについて話し合う。 3 身近にあるみんなで使うものの約束やきまりについて考える。	○道徳の授業 ・「きいろい ベンチ」を読んで、規則尊重について考えさせる。 ○日常生活 ・みんなで考えた、「身近なみんなで使うものの約束やきまり」を守って生活をするよう指導する。 ・やってみたことを、ノートやワークシートに記録させる。 ○学級活動 ・朝のスピーチなどで、記録したことをみんなに発表させる。

月	教材名〔主題名〕 内容項目(主・関連)	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
付録	38. ぼくに もたせて 〔かぞくの ために できる こと〕 【主】C 家族愛、家庭生活の充実 【関連】B 親切、思いやり	◎祖父母に親しみをもつだけでなく何かをしてあげたいという思いをもち、進んでお手伝いをする。 【理解、判断力】 祖父母を気づかう優しさが分かる。 【心情】 祖父母の様子を見て、手助けしたいという気持ちになった人に感動することができる。 【実践意欲と態度】 祖父母へのお手伝いをするこゝで、家族の結びつきがもっと強くなるのが分かり、これからもそうしようとする。	1 今までどんなお手伝いをしたことがあるか、どうしてそのお手伝いをしているか話し合う。 2 「ぼくに もたせて」を読んで、話し合う。 3 たろうさんのように家族のためにできる手伝いを探す。	○道徳の授業 ・「ぼくに もたせて」を読み、祖父を気づかう優しさについて話し合わせる。 ○生活科 ・家族の一員として自分にできることを考えて計画を立て、自分で決めた仕事を家で挑戦させる。 ○家庭 ・家でのお手伝いに継続して取り組むよう勧める。 ・家でのお手伝いの様子を連絡してもらい、家族からの声を紹介する。
付録	39. さるの おかあさん・サヤカ 〔いのちの ちから〕 【主】D 生命の尊さ 【関連】D 自然愛護	◎命のもつ力に気づき、生きることのすばらしさを知り、命を大切に生きていこうとする。 【理解、判断力】 命あるもの全てに、生きる力があることが分かる。 【心情】 障がいがあっても精一杯生きる姿に感動する。 【実践意欲と態度】 自分の命を大切に、一生懸命生きていきたいと思う。	1 導入文を読み、本時で扱う教材について知る。 2 「さるの おかあさん・サヤカ」を読んで、生きる力のすばらしさについて話し合う。 3 命の力をもっているものについて考える。 4 自分の一生懸命生きているところを考え、ノートに書く。	○道徳の授業 ・「さるの おかあさん・サヤカ」を読んで、生きることのすばらしさを考えさせる。 ○学校における日常生活 ・生きることのすばらしさをもとに、一生懸命生きていこうとする気持ちをもたせる。 ○学級活動 ・一生懸命生きている人の話を読ませる。（『さっちゃんのみほうのて』など）
付録	40. ウォルト・ディズニー — どうぶつと いっしょに— 〔しぜんと なかよし〕 【主】D 自然愛護 【関連】A 個性の伸長	◎身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接しながら、自然と共に生きていこうとする。 【理解、判断力】 身近な動植物に優しく接するすばらしさが分かり、そうしたいという心が自分にもあることに気づく。 【心情】 身近な動植物を大切にすばらしさに心が動く。 【実践意欲と態度】 身近な動植物を大切にしたいと思う。	1 登場人物について知っていることを発表する。 2 「ウォルト・ディズニー」を読んで、自然愛護について話し合う。 3 優しい心で自然に接した経験を発表する。	○道徳の授業 ・「ウォルト・ディズニー — どうぶつと いっしょに—」を読んで、自然愛護について考えさせる。 ○生活科 ・身近にある自然と触れ合う時間を設ける。 ・触れ合った経験をカードに書かせる。 ○学級活動 ・朝の会などで、学校や家で自然と触れ合った経験を発表させる。